



主な内容

- 1 所長所感
- 2 出雲教育事務所の分掌
- 3 令和 7 年度管内の主な研究指定校・指定事業

誰もが、誰かの、たからもの。

令和 7 年度が始まり、各学校では、新しい教職員や新入生を迎え、気持ちも新たに今年度のスタートを切られたことと思います。本年度も管内すべての学校で、充実した教育活動が展開されますようお祈り申し上げます。

さて、島根県教育委員会は、今後の島根の教育の方向性を示して、新たに「しまね教育振興ビジョン」を策定しました。学校・家庭・地域・行政が連携・協働して、県民が一体となって島根の教育を進めていきます。

しまね教育振興ビジョンでは、島根らしい魅力ある教育の推進として「誰もが、誰かの、たからもの。」について、次のように書かれています。

お互いの個性や多様性を認め合い、励まし合い、支え合いながら、子どもたち自身が、「自分が誰かのたからもの」であり、「誰もが自分のたからもの」であると思えるような教育を展開します。

わたしは、「誰もが自分のたからもの」というフレーズが気に入っています。人間関係を築くことが難しくなっている状況の中、自分が大切にされていると思うだけでなく、周りの人に積極的に関わり、周りの人を大切に想う心を育むことが重要であると考えからです。

わたしにもたからものがあります。それは、わたしが教頭をしていたときに 2 年生の子どもからもらった絵とメッセージです。この子どもとは 1 年生のときから様々な場面で指導・支援をして関わっていました。ある日、自習監督でこの子どもの教室に行くと、その時間の終わりにこのメッセージを渡してくれました。毎朝、わたしが学校近くの通学路の危険個所で、迎えていたことへの感謝の気持ちを伝えたかったようです。そのとき、わたしは、この子どもと心が通い合い、心が温くなったことを今でも強く



出雲教育事務所 所長 梅木 喜嗣

覚えています。「わたし（自分）がこの子ども（誰か）のたからもの」であり、「この子ども（誰も）が自分のたからもの」であると、まさに「誰もが、誰かの、たからもの。」を実感したときでした。

「誰もが、誰かの、たからもの。」の関係性は、子ども同士や子どもと周囲の大人との関係だけでなく、教職員間においても築かれることを願っています。

少し前の話になりますが、NHK連続テレビ小説「ブギウギ」という番組がありました。その最終回で、主人公のスズ子が熟弁した言葉が印象強く残っています。

自分のことは自分でやる。やれんことはやってもらう。ほんでやれることはやってあげる。人に生まれてきたからには、み～んなに義理があんねん。その義理を果たすんが人情やとワテは思うねん。せやから、この世は義理と人情だらけや。

学校においては、働き方改革が進められています。この言葉はそのヒントになるものだと思います。わたしが学校勤務のとき、校内研究や学校行事など、目標に向かって教職員で一致団結して夢中になって取り組んだこと、そのときに味わった達成感や充実感は今でも覚えています。子どもが好き、学校が好き、子どもが学び成長する姿が喜びである、こういう教職員の姿勢を大切にしたいと思います。現在、生活時程の工夫、教科担任制の導入など、様々な取組が進められています。ハード面の整備だけでなく、ソフト面でも教職員がやりがいをもって打ち込める職場環境となることを願っています。

最後になりますが、教育事務所には学力向上、生徒指導、特別支援教育、社会教育、教職員の人事・任用管理などの窓口があります。昨年度、特別支援教育専任教員が相談にかかわったケースはのべ 183 件ありました。学校訪問指導など、県が行っている様々な制度や事業を積極的に活用してもらいたいと考えます。教育事務所として、一つ一つの出会いを大切にしながら助言や支援となるように精一杯努めてまいります。今年度も、どうぞよろしく願います。

令和7年度 学校教育スタッフ

9名の指導主事体制で教育センター等と連携して学校、先生方をサポートします！

学校教育スタッフ指導主事兼企画幹 有田 幸樹

今年度、出雲教育事務所学校教育スタッフは、3名の指導主事と4市町に6名の派遣指導主事の計9名体制です。授業力の向上や指導力の育成に関する支援、生徒指導や特別支援教育に関する相談等に、県教育センター等と連携しながら親身に対応します。

目まぐるしく変化していく社会の中で、今まで以上に柔軟な対応が求められる学校現場です。早い段階から相談をさせていただくことで、教職員の皆さんのお力になれたらと考えています。フットワークのよい学校教育スタッフをめざし、この1年間、指導主事一同で取り組んでまいります。よろしくお願いします。



<後列>

出雲市派遣	生徒指導専任主事	奥出雲町派遣	雲南市派遣	特別支援教育支援専任教員	飯南町派遣
高田 正雄	糸原 進	藤原 真実	渡部 千秋	高木 潤	郷原 秀文

<前列>

雲南市派遣	学校教育スタッフ企画幹	出雲市派遣
目次 達郎	有田 幸樹	藤原 幹夫

令和7年度 社会教育スタッフ

学校・家庭・地域の連携・協働を目指して

社会教育スタッフ社会教育主事兼企画幹 高橋 兼造

社会教育スタッフ6名は、事務所スタッフと派遣社会教育主事が連携・協働し、管内市町の社会教育・生涯学習行政等を支援します。

社会教育主事は、地域への愛着と誇りを育むふるさと教育の充実や地域をあげて子どもの教育にかかわろうとする気運の醸成を進めることで学校・家庭・地域が一体となった教育環境の実現を目指していきます。また、人権教育推進員は、学校と関係機関等との人権教育に係る連携を図り、教育上の配慮を必要とする子どもの支援の取組をこれまで以上に推進します。今年度もどうぞよろしくお願いします。



出雲市派遣	雲南市派遣	人権教育推進員	社会教育スタッフ企画幹	奥出雲町派遣	飯南町派遣
恩田奈穂子	橘 浩明	松本泰治	高橋兼造	酒井慎佐也	難波 淳

出雲教育事務所の分掌

出雲合同庁舎勤務スタッフ

☎0853-30-5677

所 長	梅 木 喜 嗣	調 整 監 新 佐 貫 晃 弘	教職員の人事及び服務
		調 整 監 荒 木 早 苗	教職員の人事及び任用事務（総括）

☎0853-30-5724

☎0853-30-5680

総務課	総務課長 新 有 田 修	文書取扱主任、公印取扱主任 教職員の人事及び任用事務 退職手当	主 幹 新 土 屋 寿 子	非常勤講師報酬に関する事 旅費、手当、年末調整に関する こと（出雲市小学校） 給料の調整額に関する事
	主 任 井 原 歩	教職員の人事・任用事務 非常勤講師報酬に関する事 旅費、手当、年末調整に関する こと（出雲市中学校）	主任主事 稲 葉 直 人	非常勤講師報酬に関する事 旅費、手当、年末調整に関する こと（雲南市小中学校）
	会計年度任用職員 中 尾 敦 子	マイナンバーの収集	会計年度任用職員 杉 原 祥 子	旅費、手当、年末調整に関する こと（奥出雲町、飯南町小中学校）
ワーク センター	障がい者就労支援員 伊 藤 講 次	障がい者が行う作業の支援・ 指導		

学力☎0853-30-5682

生徒指導☎0853-30-5725

支援専任☎0853-30-5519

学校教育	指導主事 兼 企画幹 新 有 田 幸 樹	学校教育全般		
	生徒指導専任主 事 糸 原 進	生徒指導、学校体育 学校保健、進路	指導主事・ 特別支援教育支援専任教員 高 木 潤	特別支援教育に係る相談

社会教育☎0853-30-5685

社会 教育	社会教育主事 兼 企画幹 新 高 橋 兼 造	社会教育行政事業の推進	人権教育推進員 松 本 泰 治	人権教育の取組、連携
----------	---------------------------	-------------	--------------------	------------

各市町派遣スタッフ

	【出雲市派遣】	【雲南市派遣】	【奥出雲町派遣】	【飯南町派遣】
学校教育	高田 正雄(生徒指導) 新 藤原 幹夫(特別支援)	新 目次 達郎(学力) 渡部 千秋(特別支援)	藤原 真実	郷原 秀文
	派遣先市町教育委員会における業務、学校訪問指導業務			
社会教育	恩田 奈穂子	新 橋 浩明	酒井 慎佐也	難波 淳
	派遣先市町教育委員会における社会教育行政及び生涯学習振興行政に関する業務			

令和7年度 管内の主な研究指定校・指定事業

① 国事業

(4月18日現在)

指定事業名	指定校	指定年度
令和の日本型学校体育授業構築支援事業(武道推進モデル校)	斐川東中学校	R7

② 県事業

指定事業名	指定校	指定年度
金融経済教育研究指定校事業	寺領小学校	R6・7
学校図書館活用教育研究事業	出東小学校 加茂中学校	R7

③ その他

研究会・研究大会名	指定校・園	指定年度
中国・四国地区特別支援教育研究大会 【8月8日】	遙堪小学校 三成小学校 (提案発表)	R7
島根県音楽教育研究大会(雲南大会) 兼 雲南市幼稚園・こども園教育研究大会 【10月17日】	海潮小学校 佐世小学校 大東小学校 掛合中学校 三刀屋中学校 斐伊こども園 (公開授業・公開保育)	R7
中国・四国地区小学校体育教育研究大会 【10月24日】	平田小学校 さくら小学校 (授業公開)	R7
島根県キャリア教育研究大会(出雲大会) 【10月28日】	北陽小学校(公開授業) 出雲第三中学校(公開授業・提案発表) 四絡小学校 他(提案発表)	R7

科学の甲子園ジュニア全国大会島根県予選大会(1次予選)

【期日】 令和7年7月26日(土) 【対象】 中学校1・2年生の3人1チーム

【会場】 出雲商工会館

※参加申込や実施方法等については、後日お知らせします。



《令和7年度学校訪問指導について》

学習指導要領、しまね教育振興ビジョン、しまね特別支援教育魅力化ビジョン、第2期しまねの学力育成推進プラン、しまねの架け橋期の教育ガイド、各市町教育委員会の教育方針を踏まえた学校教育の充実をめざして、「学力育成・授業改善」「生徒指導」「特別支援教育」について、各学校の教育実践を推進する支援を行います。

特に重点として行う学校訪問指導

・学力育成、授業改善、校内研究等を推進する学校の主体的・自主的な取組を継続的に支援するための学校訪問指導

・初任者研修該当者の育成・授業力向上のための学校訪問指導

